

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	コクゴ	(フリガナ)	フジモト ヨウコ
授業科目名	国語	担当教員名	藤本 陽子
英文授業科目名	Japanese Literature and Language		
基準年次(開講期)	1年(前期)	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室	木 5 限 / 浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	論説、文学、文字、批評、		
授業概要・目的	題材の論理の展開や要旨をとらえ、また論理の展開の仕方を身に付け実践する。文学的な文章は表現を味わい、表現の仕方、言葉の使い方、文体、修辞を身に付ける。日本の古典、漢文を通して当時の生活、習慣、考え方を学び、日本の文化、中国の文化について考える。また文化的な影響を受けた海外の作品を通して、日本文学の成立を知る。文字の役割を考え、日本の文字の成り立ちや役割について考える。作品を批判的、分析的に読み、創作する。国語を通して世界に目を向け、社会問題、特に教育について考える。		
到達度評価の評価項目	題材に対する内容で評価する。考察の深さ、調、発表、作品、記述力等。		
授 業 計 画			
第 1 回	クラスオリエンテーション、および論説文(新聞) クラスオリエンテーション、および論説文(新聞)を読み、意見を論述する。		
第 2 回	論説文(雑誌記事) 論説文(雑誌記事)を読み、意見を論述する。		
第 3 回	現代の文学作品(随筆) 現代の文学作品(随筆)を読み分析する。創作する。		
第 4 回	現代の文学作品(小説) 現代の文学作品(小説)を読み分析する。		
第 5 回	現代の詩・歌 詩や歌のもつ表現力を認識し、創作する。		
第 6 回	俳句・川柳 日常生活に生きる限定された字数での表現方法と、リズム感を再認識し、創作する。		
第 7 回	文字の役割と漢字 文字一般の歴史を学習し、文字の果たす役割について考える。漢字の成り立ち・構成・意味について復習する。		
第 8 回	万葉仮名・カタカナ・変体仮名・ひらがな 万葉仮名・カタカナ・変体仮名・ひらがなの成り立ちについて学習し、万葉仮名あるいは変体仮名を解説する。		
第 9 回	漢文 漢文読解に必要な事項の復習をし、漢文を読む。		
第 10 回	古文 中世以降の古典を読む。		
第 11 回	海外の児童文学(物語) 海外の児童文学(物語)を読み分析する。		
第 12 回	日本の児童文学(物語) 日本の児童文学(説明的文章)を読み分析する。創作する		
第 13 回	児童文学(説明的文章) 文学批評 児童文学(説明的文章)を読み、分析する。創作する。		
第 14 回	文学批評 文学批評について学習する。互いの作品を批評する。		
第 15 回	現代語の問題 現代日本語の問題を取り上げ、考察、論述する。		
教科書・参考書等	資料は都度配布する。必要に応じて辞書は手配する。		
授業で使用する機器等	PC,OHP		
予習・復習へのアドバイス	記述する課題が多いが、推敲し完成させることが肝心。		
履修上の注意・受講条件等	携帯電話の使用は認めない。留学生は N1 保持者に限る。		
成績評価の基準等	授業態度を含む平常点及び課題完成(50%)、最終レポート(50%)		
メッセージ	メディア授業ですが、意見を述べる、質問するなど授業へ積極的に参加しましょう。		
オフィスアワー			
その他			